

5. わり算の世界を広げよう [小数のわり算] 単元計画 【新しい算数5上 東京書籍】

単元の目標	(1) 除数が小数の場合の除法の意味を理解し、除法の計算ができるとともに、小数の除法についても整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解している。 (2) 除法の意味に着目し、除法の性質を活用して、除数が小数の場合の除法の意味を捉え直すとともに、計算の仕方を図や式を用いて考え表現している。 (3) 除数が小数の場合を考えることを通して除法の意味を捉え直したり、その計算方法について図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	①除数が小数である場合の除法の意味について理解している。 ②小数の除法の計算ができる。 ③余りの大きさについて理解している。 ④小数の除法についても整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解している。	①除法の意味に着目し、除数が小数である場合まで数の範囲を広げて除法の意味を捉え直しているとともに、それらの計算の仕方を考えたり、それらを日常生活に生かしたりしている。	①小数の除法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。

	1	2	3	4	5	6	7
小単元	小数のわり算						
目標	小数で割ることの意味を図や式を用いて考え、説明する。 (教科書P.52~54)	(整数)÷(小数)の計算の仕方を数直線を用いて考え、説明する。 (教科書P.55~56)	除法の性質に着目し、(小数)÷(小数)の計算の仕方を理解する。 (教科書P.56~57)	(小数)÷(小数)の筆算の仕方を理解し、答えを求める。 (教科書P.58)	純小数で割ると、商は被除数より大きくなることを理解し、その理由を説明する。 (教科書P.59~60)	小数の除法で商を概数で求めるときの処理の仕方を理解し、商を概数で表す。 (教科書P.60)	小数の除法での余りの意味を理解し、商と余りを求める。 (教科書P.61)

毎時の評価規準 (○指導に生かす評価 ●記録に残す評価 ※①②③④は単元の評価規準を参照)

知識・技能【知】	④ ●(整数)÷(小数)の既習の計算や数直線を用いて考え、答えを求めることができる。	② ○(小数)÷(小数)の計算の仕方を、乗法の性質を活用して考え、答えを求めることができる。	② ●(小数)÷(小数)の筆算の仕方を理解し、答えを求めることができる。	① ○除数が純小数の場合は、商が被除数より大きくなることを理解している。	① ●小数の除法の商を概数で表す方法を理解し、商を概数で表すことができる。	③ ●小数の除法での余りの小数点の位置を理解し、商と余りを求めることができる。
思考・判断・表現【思】	① ○整数を小数で割る意味について、既習の倍の見方を活用して考え、説明することができる。	① ○(整数)÷(小数)の計算の仕方を、小数の構成や除法の性質に着目して整数の計算に帰着して考え、説明することができる。	① ○被除数と除数に着目して、被除数の末尾の0を補うことや、商の一位に0を書くことを理解している。	① ●除数が帯小数の場合と、純小数の場合の被除数と商の大きさについて、数直線を用いて考え、説明することができる。		
主体的に学習に取り組む態度【主】	① ○整数を小数で割るとき、(全体量)÷(幾つ分)が適用できないことに気付き、図や式を用いて式の意味を捉えようとしている。				① ○小数の除法の商を概数で表す方法を、既習を基に考え、学習に生かそうとしている。	

学習の流れ(目安:分)と学習形態(★前時に課した家庭学習との関連、※デジタルドリル活用 △教科書の問題番号)

家庭学習時間	※A1ドリル(4年14-4)	※共通ドリル(5年5-1)	※共通ドリル(5年5-2)	※A1ドリル(5年5-1)	※A1ドリル(5年5-2)	※A1ドリル(5年5-3)	※共通ドリル(5年5-20)
0	一斉 ①<既習内容の確認> 既習の除法の性質や筆算の手順について確認する。	一斉 ①<★前時の確認> (習熟タイムや家庭学習で、つまづきが見られた問題)	一斉 ①<★前時の確認> (習熟タイムや家庭学習で、つまづきが見られた問題)	一斉 ①<★前時の確認> (習熟タイムや家庭学習で、つまづきが見られた問題)	一斉 ①<★前時の確認> (習熟タイムや家庭学習で、つまづきが見られた問題)	一斉 ①<★前時の確認> (習熟タイムや家庭学習で、つまづきが見られた問題)	一斉 ①<★前時の確認> (習熟タイムや家庭学習で、つまづきが見られた問題)
5	個別 ②整数のときの立式を基に、立式の仕方を考える。	個別 ②300÷2.5の計算の仕方を考える。【知】	個別 ②比例の関係から乗法の性質を活用して立式し、□を求める除法の式に表す。	個別・協働 ②2.34÷3.9、1.8÷2.4、8÷2.5の被除数と除数の大きさに着目して、筆算の仕方をまとめる。【思】	個別・協働 ②問題から数直線の図に表し、立式して商を求める。【知】	個別 ②2.5÷1.5を計算する。	個別 ②2.5÷0.7の計算をし、余りを求める。
10	個別・協働 ③式の理由を、数直線や言葉の式などを用いて考え、説明する。【思】	個別・協働 ③数直線や式を使って、自分の考えを説明する。【思】	個別・協働 ③7.56÷6.3の計算の仕方を考える。【知】	個別 ③適用問題に取り組む。【知】 教科書P.58△3、4	個別・協働 ③純小数で割ると、商が被除数より大きくなり、帯小数で割ると、商は被除数より小さくなることを、数直線を用いて説明する。【思】	個別・協働 ③割り切れないときの、商の表し方について考え、上から2けたの概数で表す。【主】	個別・協働 ③余りの大きさについて考え、余りの大きさを図や検算の式で確かめる。
15	個別・協働 ④既習の乗法の意味を基にして、除法の意味を捉え直す。【主】	一斉 ④(整数)÷(小数)の計算の仕方をまとめる。	一斉 ④除法の性質に着目して、筆算の仕方を考える。	個別 ④習熟タイム ・ステップ0 ・ステップ1 ※共通ドリル(5年5-5、5-9)	一斉 ④除数の大きさによる商の大きさについてまとめる。	一斉 ④商を概数で表すことをまとめる。	一斉 ④小数の除法の余りの大きさについてまとめる。
20	個別・協働 ⑤習熟タイム ・ステップ0 ・ステップ1 ※作問した問題 ・ステップ2	個別 ⑤練習問題に取り組む。 教科書P.56△1	個別・協働 ⑤習熟タイム ・ステップ0 ・ステップ1 ※共通ドリル(5-3) 教科書P.58△2	個別・協働 ⑤習熟タイム ・ステップ0 ・ステップ1 ・ステップ2 ・ステップ3 <意味付け> <概念形成><活用問題> <問題づくり><探究活動> から適切なものを設定する。	個別 ⑤習熟タイム ・ステップ0 ・ステップ1 ※共通ドリル(5年5-12) 教科書P.60△5	個別 ⑤適用問題に取り組む。【知】 教科書P.60△7	個別 ⑤適用問題に取り組む。【知】 教科書P.61△8
25	個別・協働 ⑥習熟タイム ・ステップ0 ・ステップ1 ・ステップ2 ・ステップ3 <意味付け> <概念形成><活用問題> <問題づくり><探究活動> から適切なものを設定する。	個別・協働 ⑥習熟タイム ・ステップ0 ・ステップ3 <意味付け> <概念形成><活用問題> <問題づくり><探究活動> から適切なものを設定する。	個別・協働 ⑥習熟タイム ・ステップ0 ・ステップ3 <意味付け> <概念形成><活用問題> <問題づくり><探究活動> から適切なものを設定する。	個別・協働 ⑥習熟タイム ・ステップ0 ・ステップ3 <意味付け> <概念形成><活用問題> <問題づくり><探究活動> から適切なものを設定する。	個別・協働 ⑥習熟タイム ・ステップ0 ・ステップ3 <意味付け> <概念形成><活用問題> <問題づくり><探究活動> から適切なものを設定する。	個別・協働 ⑥習熟タイム ・ステップ0 ・ステップ3 <意味付け> <概念形成><活用問題> <問題づくり><探究活動> から適切なものを設定する。	個別・協働 ⑥習熟タイム ・ステップ0 ・ステップ1 ※共通ドリル(5年5-17) ・ステップ2
30							
35							
40							
45							